

[人文・社会] [文芸] ご担当者様

2月21日出荷開始  
配本なし/ご注文数のみ出荷いたします



dZERO ディーゼロ

2月新刊のご案内

文学研究を通して知る、忘れ去られようとしている戦後日本の罪と在日朝鮮人の苦悩

# 在日朝鮮人作家 金鶴泳の文学と思想

著者：沢部清

解説：竹内栄美子 (明治大学文学部教授) 信田さよ子 (日本公認心理師協会会長)

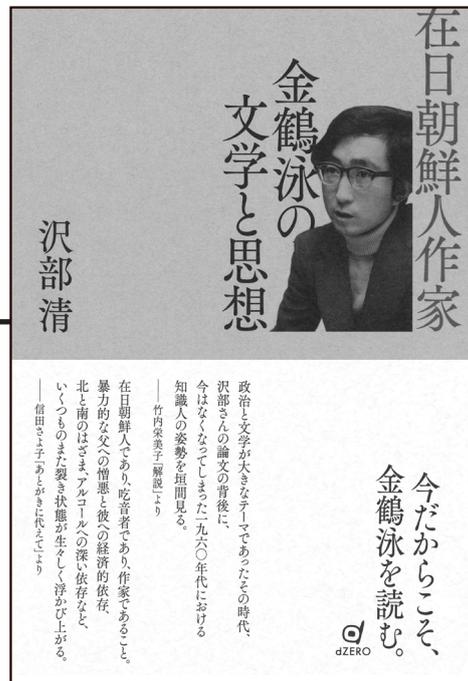
## 今だからこそ、金鶴泳を読む。

政治と文学が大きなテーマであったその時代、当時の知識人は近代日本における「罪」の部分、すなわち侵略戦争であり植民地支配であり差別問題であり格差問題を見極めながら思索を深めた。沢部さんの論文の背後に、一九六〇年代におけるそうした知識人の姿勢を垣間見る。

——竹内栄美子「解説」より

在日朝鮮人であり、吃音者であり、作家であること。暴力的な父への憎悪と彼への経済的依存、北と南のはざま、アルコールへの深い依存など、いくつものまた裂き状態が生々しく浮かび上がる本書の構成はすばらしい。

——信田さよ子「あとがきに代えて」より



【著者略歴】沢部清 (さわべ・きよし) —1946年、岐阜県に生まれる。東京大学経済学部を卒業後、エネルギー関連企業に就職する。同社代表取締役会長を務めたのちに退職し、在日朝鮮人文学の研究を志して宇都宮大学大学院へ。同大学院修士課程修了後、明治大学大学院文学研究科日本文学専攻に入学し、研究を継続する。2024年、同大学院博士後期課程在学中に永眠。信田さよ子 (公認心理師) の夫。

### 【目次】

序章 思想の変遷をたどって

第一部 初期から学究期の小説

第二部 中期の作家活動と国籍移行

第三部 晩年とその死

終章 今日、金鶴泳を読むということ

補遺 小説『錯迷』と国籍の変更

解説 竹内栄美子

あとがきに代えて 信田さよ子

▼弊社刊行物は書店様との直接取引で出荷しております。物流と決済はトランスビューが代行いたします。都度請求 (返品不可・送料元払い・郵便振替同梱) にも対応させていただきますが、簡単なお手続きで今すぐ継続的な直取引 (返品可) が可能です。

▼取次経由 (買い切り・返品不可) をご希望の場合は、八木書店を通じてご希望の取次に出荷いたします。

直取引代行  
トランスビュー

\*ご希望の出荷方法にチェックマークをお入れください

直取引 (返品可。初めての書店様には小社よりご連絡いたします)

取次経由 (返品不可)

● 書名：在日朝鮮人作家 金鶴泳の文学と思想	ご注文数	貴店名
● 著者：沢部清		
● 解説：竹内栄美子/信田さよ子		
● 発売・出荷開始：2025年2月21日		
● 定価：本体 2800円+税		
● 判型・ページ数：四六判・上製・256頁		
● ISBN：978-4-907623-77-7	冊	ご担当 様

ご注文→ **BookCellar** または **FAX: 0120-999-968** でお問い合わせ (dZERO) → TEL: 043-376-7396 Email: info@dze.ro